

高等学校 令和7年度年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組 必修
教科担当者：（1・5・7組：）（3・4・6組：）（2・8組：）
使用教科書：（東京書籍『精選論理国語』）
使用教材：『改訂版 評論速読トレーニング 2000』数研出版 『新訂国語図説 六訂版』京都書房
『論理的に読む 論読現代文3』浜島書店 『共通テスト対策実用文速読トレーニング』数研出版

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・劇	書	読					
一 学 期	近代という時代 【知識及び技能】 ・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解する。 ・文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「学習の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解し、未来の社会について、考えを深める。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。	・文章を分析的に読み取り、筆者が提示する具体例を抜き出して把握する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容・文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方などの表現の仕方を工夫する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「環境問題と孤立した個人」「鏡の中の現代社会」等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解しているか。 ・文章の要約表現や同義表現の反復（繰り返し）、接続の仕方を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「学習の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しているか。 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解し、未来の社会について、考えを深めようとしているか。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしているか。	○	○	○	17
	メディアを問い直す 【知識及び技能】 ・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解する。 ・「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・意味段落のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、自分にとってのメディアの存在を振り返り、情報化社会における自分の考えを深める。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。	・文章を分析的に読み取り、筆者が提示する具体例を抜き出して把握する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容・文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方などの表現の仕方を工夫する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「おじいさんのランプ」「書物の近代」等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解しているか。 ・「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しているか。 ・意味段落のそれぞれの部分で取り上げられていることを整理して全体の構成を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、自分にとってのメディアの存在を振り返り、情報化社会における自分の考えを深めようとしているか。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしているか。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1

[illegible]